

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月 8日更新

事務事業名	地域再生拠点創造事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	6	産業の健康		所属部	産業振興部	課長名 右田 純司
	施策	26	農業の振興		所属課	農政課	担当者名 高来 登
	施策の柱	70	後継者の育成		所属班	農政班	(内線) 5222
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 11560	根拠法令 農地法、都市計画法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本市において、過疎化及び高齢化を要因として、空き家や耕作放棄地が増加している地域が存在する。本事業は、当該地域で人やモノが活発に行き来できる場を中心として、地域内外の交流を活性化させ、地域全体の再生を目指している。現在は、地域おこし協力隊の活動拠点として活用され、周辺住民と共同で耕作放棄地に栽培したひまわりを、ひまわりオイルとして商品化し販売している。また、通年で地域住民の交流会、地域外に住む農業者の休憩場所としても活用され、地域の拠り所となる場所として定着してきている。市内農業者への研修者に対し、簡易宿泊施設としても提供し、年に数回利用されている。当該地域の遊休地では、市内企業の農業参入の一機会に農地として提供し、初年度は新規就農者と共同でにんにく、ネギの栽培を行った。
【業務の流れ】	①空き家所有者賃借契約 ②施設管理、利用促進業務 ③上庄区(担い手農家等)との交流会・同地区住民と都市部住民との交流
【主な予算費目】	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料
【意見や要望】	・地域住民が継続的に交流を図っていくかが課題である。 ・過疎化及び高齢化を分析し、再生させるためには時間を要する。 ・地域住民同士の交流連携・協力の場を提供する必要がある。 ・モデル事業として市全域に広げてほしい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	地域再生拠点「みんなの家(上庄地区)」を中心に、地域おこし協力隊(マーケットプラナー)が地元住民と共同で、ひまわり栽培、ひまわりオイルの商品化活動に取り組んだ。また、市内企業の農業参入に向け、遊休地の提供、新規就農者との連携を支援した。 【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルスの影響により販促活動が計画どおりできなかったため。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 施設については、施設利用者と地元住民との交流の場として活用するなどして地域活性化を図りたい。また、みんなの家を拠点とし、地域おこし協力隊を支援して農業者の販路拡大を行いたい。耕作放棄地については、地元企業と連携を図りながら生産性の高い農作物の試験栽培を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) ア: 地元住民以外の施設を利用した回数	⇒ イ: 回 予算の主な増減の理由 農業販路拡大に伴う旅費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	上庄区住民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ⇒ ア: 上庄区世帯数 ⇒ イ: 戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地域の課題(空き家の増加、耕作放棄地の増加等)について取り組んでいく。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ⇒ ア: みんなの家利用日数 ⇒ イ: 日
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠 人と人との絆が強化されることにより住みよいまちづくりが形成される。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込	
① 活動指標	ア	回	2	5	10	0	10	10	10	10	
② 対象指標	ア	戸	240	240	250	240	250	250	250	250	
③ 成果指標	ア	日	150	150	100	150	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	325	423	514	397	588	708	708	708
		(A) 事業費計	千円	325	423	514	397	588	708	708	708
		(A)のうち指定経費	千円	31	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	31	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	3	0	4	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	30	380	0	150	0	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	118	1,505	0	591	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	443	1,928	514	988	588	708	708	708		

事務事業名	地域再生拠点創造事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 地域おこし協力隊が活動拠点とし、地域住民も含め連携した取り組みを行っている。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 取組が定着してきている。今後は地道な活動を継続することはもとより、活動を広く知ってもらうためにメディアを活用し他地域への活動を広げるよう発信する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年々遊休地や空き家が増加傾向にあるため、このような取組みを一層強化する必要がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業遂行のための最小限の予算であるため削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全国的な問題でもある「後継者不足の解消」に資する事業であり、新規就農者に対するきっかけづくりをサポートすることにつながるため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 遊休農地、空き家を活かし、後継者不足の解消を図りながら地域の活性化に資する事業であることから、行政がその役割を担うものである。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

休地、空き家の活用が図られ、地域のコミュニティが強化されてきた。  
今後は、農業の販路拡大や加工品の開発等を大学と連携し進めていきたい。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					